

# 令和4年度徳島大学産業院セミナー アンケート結果

【開催日】 令和4年5月27日（金）10時00分～11時50分

【参加者数】 236名

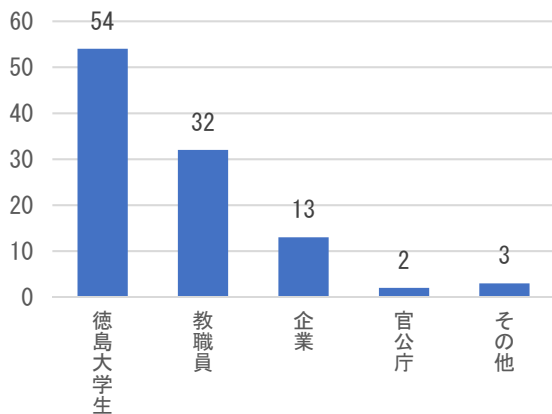
<内訳：会場参加 151名（教職員 28名、学生 104名、企業等 19名）  
オンライン参加 85名（教職員 44名、学生 5名、企業等 36名）>

【アンケート実施期間】 令和4年5月27日（金）～6月3日（金）

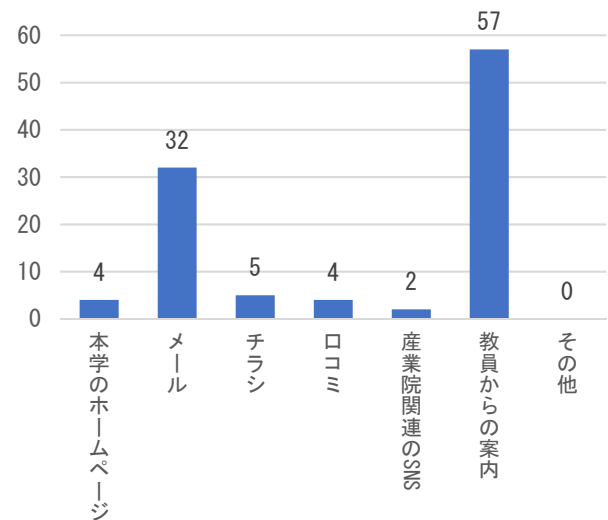
【アンケート実施方法】 WEB（Foams）により実施

【アンケート回答者数】 104名（回答率：44%）

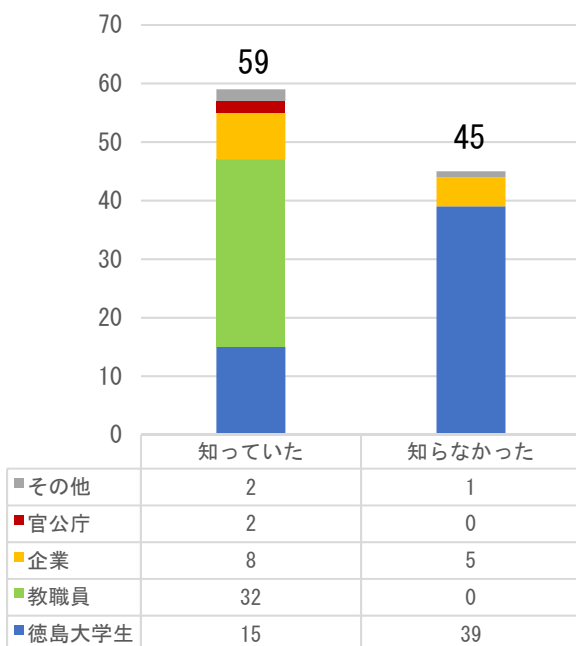
## (1) アンケート回答者の所属



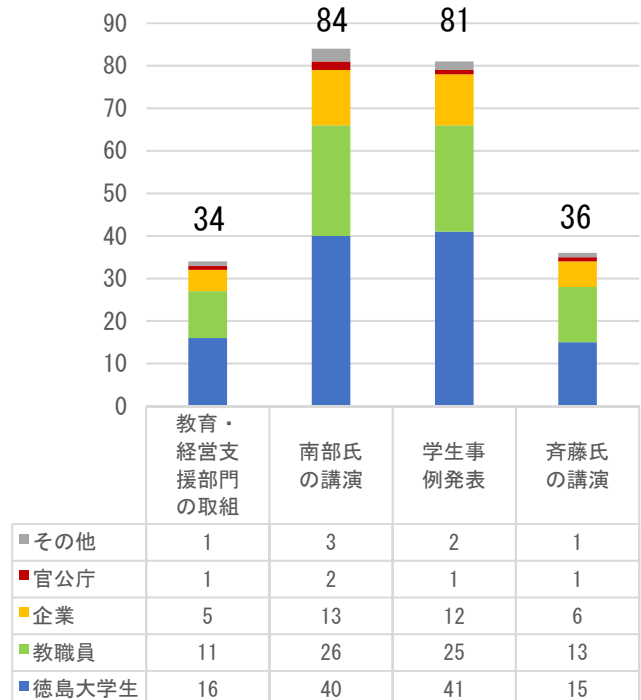
## (2) 本セミナーを知ったきっかけ



## (3) 本セミナーの開催案内以前に 大学産業院のことを知っていたか



## (4) 大学産業院セミナーについて、 よかったと思われるもの (複数選択可)



## (5) (4) の設問で、選択した理由、または講演についてのご感想【一部抜粋】

- 南部様の講演では、南部様の経験した今に至るまでの貴重なお話が聞けて、非常に人生の教訓となる機会となりました。また、学生事例発表では、今私たちが所属している学校の生徒が行っていることについて具体的に知る機会となり、今後の学生生活に生きるお話でした。
- 入室が遅れてしまい、南部氏の講演途中からしか視聴できませんでした。一番最初の取り組みについては聞いていないので選択しておりません。南部氏の講演のあとに出ていた2つの質問は、南部氏の回答の際に、それに対応したスライドが出ていたので事前に仕込まれていたものなのかなと思いましたが、講演に組み込まれるよりも、あのように質疑応答で話される方が分かりやすいので、いいやり方だなと思いました。学生の報告もよかったです。こちら何か質疑応答があった方がよかったですかなと思いました。
- パソナ（南部氏）が何故淡路島に拠点を求めたのか、お寺、松下村塾（知行合一）の話等感動した。「論語と算盤」の渋沢栄一氏、南部氏ともにビジネスの根幹を四書五経や陽明学に求めているのは興味深く起業のヒントになるのではないかと。学生事例「徳大ハム」、「産後うつ」の赤ちゃんの泣き声とスマホ利用の試みなど素晴らしい。余談ですが、女子大学生二人の質問の態度も良かった。最近は大の大人でも「有難うございました」が出て来ない人もままあります。当たり前ですが二人ともマナーにかなっていい印象でした。今回初めて受講しましたが徳島大学の企画や学生の研究の一旦を知る事が出来とても良かったと思います。
- 徳島大学にて取り組まれているご活動が、南部社長の志向にも合致するのだと納得でき、両者が学生に引き継がれていく動向が見えるようなセミナーでした。徳島大学独自で進める活動にも注力しながら、文科省の動向も周知され、産学官が一体的に取り組める点では連携していく体制が整えられているところに感銘を受けました。
- 本日のようなイベント・講演を収録した動画を授業として視聴するような方向性は検討できないか。単位取得も含めて。

## (6) 今後、大学産業院のセミナーで聞きたいこと（大学の産学連携活動等）【一部抜粋】

- 起業についてももう少し詳しく知りたいと思った。
- 徳島で行われている産業について
- 大学と企業のマッチング
- 日亜化学、大塚製薬といった徳島発祥の大手企業経営者の話を伺いたいと思っていますので是非企画下さい。
- 他大学や他地域でうまくいっている取組の共有やそれとの協働は、文系が脆弱でマンパワーも不足し、リソースが限られる本学にとって有意義と思われる。
- 学生の成果や産業院で支援していただいている研究について、学外や企業にも幅広く知ってもらいたい
- 今回のように学生がどのように実践しているのかを知る機会がありましたら幸いです。
- 次世代事業創造実践などを受講された先輩方は今どのようなことをされているのかお話を聞ける機会があったり、パソナグループ代表の南部さんがおっしゃられていたようなアイデアを思いつくために色んな人と会う場を作っていただけたらぜひ参加させていただきたいと思いました。
- 起業した学生の取組も面白かったですが、卒業後など、その後の活動状況が知りたいです。
- 研究のシーズがビジネスになっていくプロセス、学生が取り組みやすいプロジェクトの紹介
- (公財)えひめ産業振興財団 産学官連携推進課では愛媛大学、松山大学と企業支援に取り組んでいますが、スポット案件であり、大局的な取り組みが出来ておらず、参考になるようなことを知りたく思っています。
- もう少し大学産業院の取り組みを勉強させて頂いてから要望させていただきます。

## (7) その他、気付いた点やご意見【一部抜粋】

### 【Zoom配信関係】

- スケジュールの隙間で視聴できるので、遠隔で参加できるのがよい。今後も遠隔中継は残してほしい。
- Zoomによるオンライン視聴させていただきましたが、アクセス数や参加者属性等に興味があります。何かの形でフィードバックいただければ幸いです。

### 【講演関係】

- 文部科学省の齊藤氏のご講演が短すぎて残念でした。もっと詳細なお話が聞きたかったです。
- 学生発表や講演②（齊藤課長）の時間が押していたことありますが、もう少しあればよかったですと思いました。
- 結果論ですが、もう少し全体的に時間を取って欲しかったです。南部社長の例は極端な成功例ですが、実際に成功をつかんだ人の話は、説得力があって面白かったです。本学が、絶滅危惧？になった徳島県の発展に寄与するにはどうすれば良いか。起業したというパフォーマンスだけでなく、安定した収入を得て経済活動が持続していけるような学生を育成するために、産業院には頑張ってもらいたいです。

### 【その他】

- 徳島に事業基盤を有する企業として徳島大学の活動をもっと知らなければいけないと感じています。
- 弊社もこの徳島を基盤として地域共生の考えで事業活動に取り組んでおります。徳島大学の学生の前向きな取り組みと考え方を知り、今後何かとご支援頂ければと考えました。
- 産業院の活動が精力的な反面、教育系組織からのイノベーション教育へのアプローチが弱いように見受けられ、教育系組織と研究系組織の垣根を越えた連携を強化すべきと切に思う。TIBや神山まるごと高専など地の利を活かした取組が期待される中、現在は組織的というよりは個人的なつながりの方が強いと感じられ、組織的対応力の強化が待ったなしのように感じる。
- アントレプレナーシップを学んだ学生が就職した後でも、自分の仕事に活かしたり兼業などを通じたりして、継続して取り組めるようなやり方があると更に可能性が広がると感じました。